

無償化で増す保育士の負担、しわよせは子どもに

公定価格は減額じゃなく  
むしろ加算でしょ!!

# 12.2緊急院内集会

公定価格を引き上げて、  
保育士を増やして!

無償化になっ  
ても、保育士  
がいなくて預  
けられない!

無償化なの  
に、給食費実  
費徴収で、負  
担が増えるな  
んて!



10月から実施された幼児教育・保育の無償化は、保育現場にさまざまな問題をひきおこしています。ところが国は、年末の予算編成に向けて公定価格（保育費用）の減額を検討していることが明らかになりました。無償化に財源がとられ、緊急の課題である保育士の処遇や労働条件の改善はすすまないどころか、土曜日は子どもも職員も少ないという実態があるので、子ども数や職員数にあわせて公定価格の減額案が決定されようとしています。

現在の公定価格さえ、週66時間（1日11時間×6日）の開所時間に見合わずに不十分なため、最低基準や労働基準法が守れないと保育現場で悲鳴があがっています。

公定価格は引き上げこそが求められており、減額などあってはならないことです。無償化によって副食費の実費徴収など保育士の負担が増えているのに、この減額となれば、そのしわ寄せが子どもたちに及んでしまいます。

すべての子どもに格差なく、等しく質の高い保育を求めて、声をあげましょう。

とき：2019年12月2日（月）

PM5:00~7:00

ところ：衆議院第2議員会館第1会議室

主催：よりよい保育を！実行委員会

連絡先：全国保育団体連絡会

TEL03-6265-3171/FAX03-6265-3230